

# 自治連 あさか

朝霞市自治会連合会

創立40周年

朝霞市自治会連合会

平成26年  
2月1日  
第9号



平成25年5月23日(木)、ゆめばれす(市民会館)にて「平成25年度朝霞市自治会連合会定期総会」が開催されました(裏表紙参照)。

## ごあいさつ



朝霞市自治会連合会会長

島 礼 次



朝霞市長

富 岡 勝 則

自治会員・町内会員の皆様には、日頃から市政全般にわたり、自治会・町内会の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、朝霞市自治会連合会も昭和49年の発足から今年で40年の節目を迎えました。しかし、連合会という横のつながりがあることによりそれぞれの自治会・町内会で抱えていた課題を共有し、時には隣接する会同士で防災訓練をしたりと、地域同士のつながりも深めてまいりました。

この40年間で朝霞市の人口も2倍以上に増加しておりますが、世帯の構成は年々核家族化が進んでおり、また地域とのつながりも薄れがちな昨今であります。しかし、ご近所同士の日頃からのあいさつや、困った時の助け合いなど、やはり人と人とのつながりが生活の中で明るい彩りを添えるのだと思います。

この「自治連あさか」に自治会連合会や各自治会・町内会の活動を掲載しましたので、地域の皆様には、ぜひご一読いただきコミュニティの大切さ、などを感じていただけたら幸いです。

これからも自治会連合会は、行政との連携を密にし、地域のさまざまな課題に取り組んで、明るく住みやすいまちを目指してまいります。

朝霞市自治会連合会の皆様には、日頃から市政全般にわたり、多大なるお力添えを賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、自治会連合会が今年で40周年を迎えることを、心からお喜び申し上げます。

昭和49年の発足以来、自治会連合会には、地域コミュニティの要として、住みよい地域社会の形成にご尽力をいたしました。また、自治会・町内会の枠を超えた会員相互の連携を深めることで、地域と地域の結びつきを強固にするだけではなく、地域と行政とを結びつける架け橋としての役割も果たしていただいております。

地域活動に関心を持たない地域住民の増加や、地域におけるコミュニケーションの希薄化が叫ばれて久しい昨今、本市も例外ではなく自治会加入率が低下している状況が続いております。そのような中、自治会・町内会の具体的な活動事例が掲載されている、この「自治連あさか」をきっかけとして、地域活動に対する地域住民の理解・興味を促し、新たな自治会員を増やすことで、さらなる地域コミュニティの活性化につながることを期待しております。

最後に、朝霞市自治会連合会のますますのご発展を祈念申し上げまして、あいさついたします。

**昭和**  
**62年**  
1987年東武東上線・地下鉄有楽町線  
相互乗り入れ開始

図書館開設

**平成****2年**  
1990年

朝霞台出張所開設

**6年**  
1994年健康増進センター  
「わくわくどーむ」開設  
市内循環バス運行開始**7年**  
1995年

朝霞水門完成

**9年**  
1997年博物館、斎場開設  
人口 113,848人  
47,708世帯(H10.1.1現在)**11年**  
1999年産業文化センター、  
図書館北朝霞分館開設**12年**  
2000年総合福祉センター「はあとぴあ」、  
リサイクルプラザ「エコネットあさか」開設**13年**  
2001年

旧高橋家住宅が重要文化財に指定

**15年**  
2003年朝霞市・志木市・和光市・新座市の  
合併の是非を問う住民投票**19年**  
2007年朝霞駅前出張所、  
市民活動支援ステーション開設**20年**  
2008年東武東上線・地下鉄副都心線相互乗り入れ開始  
人口 127,474人 57,159世帯(H20.1.1現在)**23年**  
2011年猪苗代湖自然の家廃止、東日本大震災で  
震度5弱を記録**24年**  
2012年朝霞市指定天然記念物  
「湧水代官水」の公開  
人口 131,594人 59,025世帯(H25.1.1現在)**26年**  
2014年朝霞市自治会連合会 創立40周年  
自治会・町内会56団体加入**昭和60年～平成9年**

子どもプールや市民センター、わくわくどーむなどの施設が次々に建設され、また、朝霞・志木・和光・新座の4市で公共サービスの相互利用が開始されるなど、市民をとりまく環境はますます便利になっていきました。

昭和63年 黒目川堤防



一方で、交通網の発達により、労働人口の多数が東京都内へ通勤していたことから、若い世代の関心が地元に向かなくなっていました。

しかし、地元への関心が薄れると目が行き届かなくなり、小さな犯罪が増えています。

そのような中、自治会・町内会は学校や駅周辺のパトロールなどの防犯活動を積極的に行い、地域を見守ることで、着実に地元朝霞を守る活動を続けてきました。

また、朝霞市民まつり彩夏祭では平成6年からよさこい鳴子踊りが始まり、たくさんの町内会チームが参加していました。



平成元年 クリーン活動

**平成10年代～現在**

市内ではマンションや新しい住宅の建設がまだまだ続き、昔ながらの街並みがどんどん変わっていきました。

このような中、国内では新潟県中越・中越沖地震、宮城地震など、大きな自然災害が数多く起こりました。そして平成23年には東日本大震災により、市内でも震度5弱を観測しました。

この東日本大震災以降、「絆」という言葉がクローズアップされ、地域のつながりが見直されつつあります。

現在、自治会・町内会はこのような大きな災害を教訓に、いざと言うときの安心のために自主防災組織を立ち上げ、食料品や飲料水・防災用備蓄の確保や、防災訓練の実施・参加など、積極的に取り組んでいます。



平成22年 町内会による防災訓練

**朝霞市自治会連合会は、これからも住みよいまちづくりのために前に進み続けます！**

**自治会連合会歴代会長一覧 (平成26年2月現在)**

創立～昭和51年	比留間豊吉	岡町内会
昭和52年	岩崎 力作	膝折町内会
昭和53年～昭和57年	須崎 知介	上内間木町内会
昭和58年～昭和63年	塙味 昌弘	溝沿第三町内会
平成元年～平成4年	高橋 隆二	三原町内会
平成5年～平成15年	榎本 正男	宮戸町内会
平成16年～現在	島 礼次	向山自治会

朝霞市自治会連合会は昭和49年に設立され、今年で40周年を迎えました。

この40年間で、朝霞のまちは大きく変わり、自治会・町内会の果たす役割も変化しつつあります。

**昭和****42年**  
1967年

朝霞市制施行

人口 55,369人 18,821世帯(S42.1.1現在)

**43年**  
1968年

中学校給食開始

**44年**  
1969年

朝霞市歌・朝霞音頭発表

**47年**  
1972年

市役所を現在の場所に開設

**48年**  
1973年

武蔵野線開通

**49年**  
1974年

朝霞市自治会連合会発足

東武鉄道朝霞台駅開設

人口 75,259人 25,209世帯(S49.1.1現在)

**50年**  
1975年

北朝霞土地区画整理事業完了

**51年**  
1976年

市民会館「ゆめぱれす」開設

**53年**  
1978年

猪苗代湖自然の家開設

**54年**  
1979年

保健センター開設

**56年**  
1981年

城山公園開設

**57年**  
1982年

総合体育館、中央公園開設

**58年**  
1983年

青葉台公園開設

**59年**  
1984年

中央公民館・コミュニティセンター開設

第1回朝霞市民まつり開催

人口 91,915人 32,659世帯(S60.1.1現在)

**朝霞市自治会連合会****創立40周年****～朝霞の自治会 今・昔～**

昭和42年 市役所前交差点

**昭和40年代**

昭和40年代後半、武蔵野線北朝霞駅が開通、東武鉄道朝霞台駅が開設され、朝霞市の人口は爆発的に増えました。昭和50年の国勢調査では前回調査から5年間の埼玉県の人口増加率が24.7%と全国一でした。

鉄道網が整備されると共に宅地化が進み、新しい市民が朝霞市に増えてきましたことから、新旧住民のつながりを作る意味でも、自治会活動はとても大切な意味を持っています。このような状況のなか、自治会同士のつながりを強め、情報交換をして、より広域的に住みやすいまちづくりを進めていくために、自治会連合会が誕生しました。

**昭和50年代**

昭和50年代、人口もますます増え続け、市内では保育・教育施設が多く開設されました。昭和50年から59年までの10年間で、保育園3園、小学校2校、中学校2校、高校1校が新設されています。

また、今や朝霞の夏の風物詩となった朝霞市民まつりが始まったのは昭和59年のことでした。

当時の自治会・町内会は、それぞれ子ども会を持ち、活動的な活動が行われていました。自治会の夏祭りにはたくさんの子どもたちが訪れ、鼓笛隊や子どもも神輿なども盛んでした。子どもを通じて親や家族もつながり、地域で子どもを見守っていた時代でした。



昭和55年 子ども神輿



## 市長を囲む 意見交換会

朝霞市自治会連合会では、毎年「市長を囲む意見交換会」を開催しています。これは、自治会・町内会長と市長および市執行部とが意見交換をすることでよりよい自治会運営を目指すことを目的としています。

今年度も平成25年10月23日に市民会館において開催し、自治会連合会側から8問の質問(左表参照)を行い、市執行部からご回答をいただきました。

自治会からの質問と市の回答について一部抜粋して紹介します。

質問順	提出者	質問項目
1	自治会連合会	災害時要援護者について
2	自治会連合会	黒目川堤防の草刈りについて
3	自治会連合会	「広報あさか」以外の発行物配布について
4	旭通り町内会	公道を私物化しないでほしい 1)ゴミネットや粗大ゴミの放置 2)道路への枝の張り出し
5	緑ヶ丘親交会	空き地の利用
6	浜崎東町内会	防災無線について
7	膝折宿町内会	危険地域に関する市の対応に関して
8	弁財町内会	ゴミ袋導入について

### 今後の対応について

右記の流れを受けまして、自治会連合会理事会で協議した結果、「自治会連合会内で共通して配布していたものに関しては(社会福祉協議会の社協だりなど)今後とも各町内会においては配布や回覧による情報提供を行う」とことなりました。

今後につきましても自治会連合会では、会員同士のつながりや、地域コミュニティの促進のため、また情報提供として、配布事業を推進してまいります。会員の皆様にはご理解、ご協力をよろしくお願いします。

**Q** 「広報あさか」は平成26年度から全戸配布になると聞いていますが、その他の配布物については、どのような取扱いを考えていますか。  
今まで自治会経由で会報等を配布していた各団体との調整、各自治会内での検討などが必要となりますので、回答をお願いします。

### A

自治会連合会の皆様には、長年にわたり「広報あさか」の配布に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

広報あさかの全戸配布につきましては平成26年5月号から、ポスティングによる全戸配布を実施したいと考えております。その際、市の各部署が発行する一部の印刷物等につきましても、広報あさかと一緒に、ポスティングにより配布する予定でございます。

また、各団体との調整でございますが、平成25年7月下旬に、任意団体の印刷物につきましては、配布方法等について十分協議をするよう市の担当者に指示したところでございます。

また、各団体の中には、「これまでどおり自治会のご協力をお願いしたい」という意向の団体もございますので、今後の経過につきましては、再度ご報告させていただきたくと考えております。

さらに、災害時など急を要する情報を伝える場合においては、その都度、回覧などをお願いすることも想定されますので、今後におきましてもご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 「広報あさか」以外の発行物配布について(要約)

# 自治会長研修会～「防災」を学ぶ～

11月19日(火)・20日(水)、実施。絶景の富士山のふもとで、会員29名が防災をめぐる多くのことを学びました。

## 静岡県地震防災センター

このセンターは、東海地震に立ち向かうための知識と技術、防災意識の啓発と自主防災組織の活性化を目的に平成元年に開館されたものです。

案内の方の話によると、東日本大震災では、一度避難しながらも、家に荷物を取りに戻つて被害にあった方が多かったとのこと。ちょっとした気のゆるみが命運を左右することに、自然の脅威を感じました。

「相手は自然、被害想定を作っているのは人間なので、常に最悪の場合を想像して対策をすることが大切」の言葉で改めてどのような心構えが必要なのか、考えさせられました。



家具の転倒防止や家庭での備蓄は重要です！



## 浜岡原子力館

相模湾を望む立地条件から、津波の被害を想定した海拔22mの防波壁模型や、発電所建物で使われている厚さ約2メートル、直径約4センチの鉄筋コンクリートの壁の模型など原子力発電所の安全対策を見学しました。



## エアーパーク航空自衛隊 浜松広報館

朝霞市にある陸上自衛隊広報センター(りっくんらんじゅう)の航空版。東日本大震災などの災害復旧活動など様々な形で市民生活を支えています。

を学びました。



毎年、テーマを決めて1泊2日で関東近県を視察していますが、一番の収穫は、会員同士の親睦が深まること！同じ自治会長という立場で抱える問題を相談できることは心強いです。



# 各地区の自治会活動報告

## 第一区 膝折町内会

会長 塩野 靖春

### 膝折の歴史

膝折町には、江戸時代の川越街道膝折宿脇本陣跡が残されています。町内の西側を黒目川が流れ、その水流を利かし水車を動力とした伸銅業が生まれ、そこで働く人々が各地から集まって来て繁栄してきました。

並流山一乗院では、明治7年に第一小学校前身の膝折学校が出来ました。

社があり、子供夏祭り、七五三、初参り等が盛大に行われています。

町内会では、日帰りバス旅行・夏祭り等が盛大に行われています。

歴史ある町内を、安全・安心で住み

良い環境にするために、防犯パトロールを週3回、また、毎月最終日曜日に

は子供会と共に道路の清掃を行っています。

膝折町内会は、朝霞市西部の閑静な住宅です。発足は昭和33年です。当時、



▲防犯パトロールの皆さん

新しく開発された住宅が点在していたのを、有志の努力により住民をまとめ、若松町内会が創立されました。

本年度は、会員相互の親睦を図り、安全、安心で住みよいまちづくりに貢献することを目的に各種の事業を行っています。

これからは、高齢者世帯に見守り・声掛け運動も行つていただきたいと思います。

第二区 若松町内会  
会長 飯塚 昭五  
安全、安心のまちづくり

毎週金曜日、防犯パトロール(6~10人)。町内会地区内の防犯灯(90灯)、消火器(42器)の維持、管理。毎週土曜日に、卓球クラブ。市民センター(シルバーサロン)では、随時閉碁・将棋等で会員相互の交流を行っています。

7月(2日間)には盆踊り、10月にバス1泊旅行、また1月には成田山バス1泊旅行を予定しています。高齢者には、敬老の日に合わせて些少の記念品を贈っています。

年4回のゴルフ大会、年6回の内閣木苑へ日本舞踊(三春会)と合唱(四葉会)による慰問を行っています。

その他、朝霞市や近隣町内会との交流も図ります。町内会では、今後も各

種の事業活動を通じて会員相互の親睦を図っていきます。

## 第三区 溝沼住吉町内会

会長 川島 宏

### 人と人のつながりを大切に

溝沼住吉町内会は、朝霞駅と朝霞台駅のほぼ南側の中心にあり、タキネの坂と神明坂を下った所に位置し、戸数は75世帯と少なく、まとまりやすい町内会です。発会は、昭和38年3月に当時の溝沼8区から分かれ、東京オリンピックの前年に結成されました。

現在、町内会は溝沼連合町内会に所属し、自主防災会主催の防災訓練や納涼盆踊り大会、コミュニティ協議会主



▲長野県湯田中温泉に一泊旅行



▲防災訓練・避難場所への参集風景

催の市民まつり、自治会連合会の各種事業に参加協力しております。当町内会の事業は、毎年重点事業として防災と防犯事業を行っております。

防災事業では、①各家庭へのヘルメットの配布、②消火器の設置場所の巡回配布、③災害発生時を想定した訓練として「避難場所への参集」(参集者の名簿チェック)、「救出活動(要援護者の確認)」「消火器の点検及び場所確認」「消火訓練」「炊き出し訓練(すいとん作り)」を行いました。

また、全家庭に対して、大災害を想定したアンケート調査を行いました。

調査項目は、誘導、救出、消火活動について、曜日や時間帯に協力できる方

の安全・安心の「パトロールの日」として行っています。

これからも、会員同士のコミュニケーションを大切にした活動を通して、皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。

防犯事業では、防犯パトロール隊(20名)が、月2回町内を巡回し、犯罪を未然に防止することを目的に、会員の安全を守るために、危険箇所の点検を行います。

防犯事業では、防犯パトロール隊(20名)が、月2回町内を巡回し、犯罪を未然に防止することを目的に、会員の安全を守るために、危険箇所の点検を行いたいと思います。

防犯事業では、防犯パトロール隊(20名)が、月2回町内を巡回し、犯罪を未然に防止することを目的に、会員の安全を守るために、危険箇所の点検を行いたいと思います。

防犯事業では、防犯パトロール隊(20名)が、月2回町内を巡回し、犯罪を未然に防止することを目的に、会員の安全を守るために、危険箇所の点検を行いたいと思います。

る労力が噛み合い、その輪を広げていくことが小さな町づくりに向けた元気の素だということです。

#### 第四区

#### 仲町町内会

副会長 田口 純

#### 小さな体験

仲町町内会は東武東上線に沿った細長く小さな町内会です。現在8地区37班で運営しています。

今年も、会員相互の親睦を図るとともに、事業計画に沿って活動しています。

例えば、平成19年に発足した「町内会パトロール隊」。月2回は、下校時間にも実施し、児童たちの安全も見守っています。参加された会員の中には地域活動の仕組みに興味をもたれた方もいて、世代交代が進む町内会につ

いて、意見をたたかわせる必要性を強く実感しました。

ほかには、自慢の行事である「神輿祭り」。猛暑のなか、朝霞駅東口広場で、次代を担う子ども達も参加し、豪華に行います。

会員の親睦を図るための「カラオケ教室」は、毎月第二日曜の午後から実施。ひとりでも多くの会員が参加してくれるよう呼びかけています。

他にも、花見大会・朝霞駅東口広場花いっぱい運動・親睦旅行・ボウリング大会などの事業を実施しています。

このようなさまざまなコミュニティ活動を体験して痛感したことは、連帯意

識を持つた地域集団と、地元に貢献す

#### 第五区

#### 広沢町内会

会長 芳野 吉嗣

#### 自然と調和した 地域づくりをめざして



▲神輿の仲間で記念撮影



▲待望の広沢町内会館

沢の池と合わせ多くの市民の憩いの場となっています。

当町内会の主な活動状況として、5つの専門部を設け、各部はそれぞれ補完しあいながら、おおむね次のような事業に取組んでおります。

総務部：各部の総合調整、各種講座の立案など。文化部：夏祭り（盆踊り）の立案など。



▲広沢観音堂前広場



等)、親睦事業、各種事業の飲食物の調整など。体育部：町内会運動会、市民体育祭など。環境部：春秋のクリーン活動、防犯・防災活動など。町内会館部：会館の適正管理、会館前広場の除草など。

各種事業活動の中で、特に定例の行事として取組む夏祭りや運動会は、南の風公園や第八小の校庭を借用して行つており、多くの会員の参加を得ております。

また、平成18年4月に先人のご努力のおかげで待望の町内会館が、新しい活動拠点として誕生しました。各部の役員は、この会館周辺の環境美化のために協力し、周囲への芝(玉龍)の植栽や除草作業を行うなど整備に努めています。

今後も各部の連携を密にし、事業活動を進めてまいりたいと考えております。

## 第六区 東南部町内会 会長 鈴木 秀顕



▲息のあつた大なわとび(市民体育祭で)

また、町内会員の永年の願望でありました町内会館が完成し、平成25年度より活動ができるようになりました。町内会館は会員のコミュニティ活動の拠点であり、欠かすことのできない重要な意味があります。

これらの事業を通して、地域の皆さんとの交流を深め、さらに、心のふれあいを深めるため、多くの皆さんと一緒に積極的に活動しています。

## 田島町内会 会長 醍醐 清

### 「チーム田島」新たな結束

田島町内会は市の北東、新河岸川と黒目川の合流部に位置し、自然環境に恵まれた地域で、田島団地自治会を除く約五九〇世帯で構成しております。町内会の主な事業として、以下の4点をご紹介します。

- ①7月に恒例の夏祭り「納涼盆踊り大会」を実施。地域



▲夏祭り盆踊りに向けて練習

を実現することが大切であると考え、日々努力しています。

自分たちの住むまちを「明るく快適で住みよい環境」にするために、四季折々に活動を進めています。

町内会の活動は主に、夏祭り盆踊り、体育祭・地域防犯・夜間のパトロール、清掃作業・ボランティアの皆さん協力を得て、下校時の「児童見守り活動」は平成17年度より行い、継続中！

また、町内会員の永年の願望でありました町内会館が完成し、平成25年度より活動ができるようになりました。町内会館は会員のコミュニティ活動の拠点であり、欠かすことのできない重要な意味があります。



▲市民体育祭で一致団結

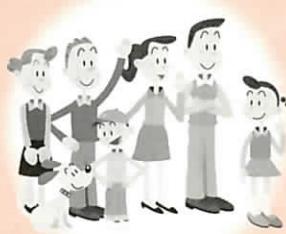
内各地区による模擬店をはじめ、婦人会・農家組合・長寿会・少年野球部等々各団体の皆さんのが参加し、祭りを盛り上げています。②田島防犯パトロールによる夜間パトロールを毎月第二・第四金曜日に実施し、防犯灯のチエックや暗い場所の安全確認等、安心して暮らせるよう点検しています。③年明けには、親睦事業を実施。日帰りバス旅行であつたり、もちつき大会であつたりと意見が分かれるところですが、秋口から役員による企画会議で検討し、会員が楽しく参加できるような事業を心がけています。④今年度は15年ぶりに市民体育祭(昨年度は雨天によ

## 第八区

**霞ヶ丘親睦会**  
会長 井上 香子  
**みんなで支え合う  
明るい地域を目指して**



▲回覧板を通した顔の見えるお付き合い



6~9ページで、暗い夜道を照らす防犯灯の管理や見回りのパトロール、美化活動や納涼大会、防災に備えての訓練や備蓄など、各自治会・町内会のさまざま活動を紹介いただきました。

ご興味をもたれた、まだ加入されていない方は、お近くの会員の方にお尋ねください。会員の方は、身近にまだ加入されていない方がいましたら、ぜひお声掛けください。

暮らしやすいまち、災害時にも助け合えるまちを皆さんで作っていきましょう!

暮らしやすいまち、災害時にも助け合えるまちを皆さんで作っていきましょう!

現在、自治会活動は活発とは言えませんが、今年度から約5年計画で防犯灯をすべてLEDに変更して行く予定です。省エネだけでなく、少しでも地域を明るく出来ればと思います。

子どもの頃から埼玉都民として朝霞で育ち、20年前に戻つて来ましたが、地元のことは何も知らずに過ごしていました。

今回、自治会活動に関わつてみて、

## 自治会・町内会では皆さんをお待ちしています!

※ご自身の地域の町内会が不明の場合は朝霞市自治会連合会事務局(朝霞市役所地域づくり支援課TEL048-463-1111)までお問い合わせください。

平成25年度朝霞市自治会連合会役員  
(平成26年2月現在)

役職	名前	団体名
会長	島 礼次	向山自治会
副会長	梶原 孝男	下の原町内会
副会長	浅川 俊夫	溝沼第二町内会
副会長	相ノ谷昌男	富士見町内会
会計	松井 宏之	東かすみ台町内会
理事	五十君欣司	境久保町内会
理事	井上 剛男	上の原町内会
理事	倉林 竹好	膝折団地自治会
理事	高橋 優	下の原南部町内会
理事	塩味 好郎	溝沼第三町内会
理事	石川陽二郎	旭通り町内会
理事	室井 徳治	昭和台町内会
理事	芳野 吉嗣	広沢町内会
理事	醍醐 清	田島町内会
理事	大島 久	宮戸町内会
監事	南條 喜明	朝志ヶ丘自治会
監事	大岡 昇	城山町内会
監事	伊藤 允光	浜崎上町内会

## ●広報委員会名簿

委員長	溝沼第二町内会	浅川 俊夫
自治会連合会	向山自治会	島 礼次
自治会連合会	下の原町内会	梶原 孝男
自治会連合会	富士見町内会	相ノ谷昌男
1区	上の原町内会	井上 剛男
2区	若松町内会	飯塚 昭五
3区	溝沼第一町内会	星野 隆哲
4区	本町霞台町内会	松尾 哲嗣
5区	広沢町内会	芳野 升
6区	城山町内会	大岡 寅二
7区	宮戸立出町内会	山田 實
8区	浜崎親交会	鈴木 實

自治会連合会も、40周年を迎えます。先人達のご苦労も、大変だったと思います。

2020年にオリンピック、2027年にリニア新幹線と、明るい話題がある一方、町内会に目を向けると、色々な問題があります。

先ず、空き家の問題、市で条例が出来ましたが、対応の難しさがあります。次に高齢化です。一人暮らしが多くなり、町内会からの脱会や、安否確認、健康への不安など懸念する材料が沢山あります。

さらに、町内会への参加意識をいかに高めるか、無関心の人的心をどう捉えるか、苦労するところです。各町内会にも、同様の悩みがあるのではないでしょう。

8区 浜崎親交会 会長 鈴木 實

ありがとうございました

前年度をもつて退職された自治会・町内会長の皆様をご紹介します。  
在職2年以上の方には、定期総会において感謝状と記念品が授与されました。

在職18年 本多 六郎  
在職15年 松田 忠男  
在職8年 鈴木 昭八  
在職6年 野島 一夫

（敬称略）  
溝沼第四町内会  
浜崎団地自治会  
緑ヶ丘親交会  
上内間木町内会

在職4年	大江 義雄
在職2年	神山 大
在職2年	芳野 浅嗣
在職1年	藤田 義晴
在職1年	神木 義之
在職1年	高橋 東町内会
在職1年	下内間木町内会
在職1年	広沢町内会
在職1年	浜崎東町内会
在職1年	シャルマンコーポ第2朝霞自治会
在職1年	県営朝霞幸町団地自治会
在職1年	富士見台自治会
在職1年	ローリエ朝霞台自治会
在職1年	三栄自治会
在職1年	近江チセ子
在職1年	岡庭 節雄
在職1年	奥山 實
在職1年	岡田 元浩
在職1年	霞ヶ丘親睦会

編集後記

## 表紙の写真

平成25年5月23日(木)、ゆめぱれす(市民会館)で自治会連合会定期総会が開催されました。

平成24年度事業報告、決算報告および監査報告、平成25年度事業計画予算案について審議され、すべて原案どおり承認されました。